



★本日12月13日(火)から冬休み特別貸出します

★一人10冊まで貸出できます。

★返却日:2023年1月10日(始業式の日)

最長29日間 貸出できます。

年末年始は じっくり

たくさん 本を読もう!

♠♥♣♦♠♥♣♦♠♥♣♦ ♪ 図書委員から オススメの本! ♡♦♠♥♣♦♠♥♣♦ ♪

『ライオンのおやつ』 小川 糸/著 ポプラ社



がんにおかされた主人公・隼は自分の残された時間をライオンの家というホスピスで過ごすことにした。そこで隼は様々な人に出会い人生をまっとうする。生きること、人生について、はっとさせられる物語。「人生の最後に食べたいおやつは、なんですか?」——私は帯に書かれていた、このフレーズに心をうばわれ、この本を読みました。私はおやつが大好きで普段からよく食べるのですが、もし人生最後に食べたいおやつはなんですかと聞かれたら、すごく悩むと思います。なぜなら、自分が死ぬことなんて考えたくもないし、知りたくないからです。しかし、この本は、その考え方は180° 変えてしまうような小説です。1回読んだだけでも人生が豊かになると思います。(1年女子図書委員)

『ニホンブンレツ』 山田悠介/著 文芸社



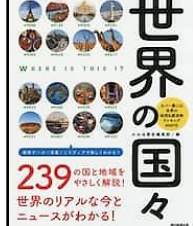
日本の西日本と東日本を分断する巨大な壁ができ、家族恋人と生き別れた主人公・博文が、政治家の父親と敵対し、恋人との再会を目指す物語。山田悠介という作家は、フィクションなのに現実味のある物語を展開します。ニホンブンレツでは私たちが日々生活している日本とドイツで起こっていたベルリンの壁を合体させたように、現実と現実を融合し、独特の世界観を作り出しています。主人公が恋人を助けるために政府に敵対し、自分が殺されそうになって、絶対に諦めずに立ち向かう姿勢に引き込まれます。また、国に指名手配されている主人公の覚悟を知って、赤の他人であるにも関わらず、主人公を家にかくまったり、警察から逃がしたり、おとりになったりするなど、一度手を貸したからには最後まで主人公を助ける本郷さんの勇姿も魅力的です。主人公の生き様を見て、自分も高い壁に挑戦しようと思ったので、是非、読んでください!(3年男子図書委員)

『私が見た未来 完全版』 たつき涼/著 飛鳥新社



たつき涼さんが経験した予知夢を漫画にした本です。「大切なのは、準備すること。災難の後の生き方を考えて、今から準備・行動しておくことの重要性」災難を予言した人だからこそ言葉の重みが違って心に残っています。「そんなことあるはずない」と思わず、信じやすい人ほど、この本は面白いと思います。「自分にもこんなことあるのかな」と少しワクワクします。体験談も細かく書かれていて、予知夢の面白さも知れて、ひきこまれます。この本は、だまされたと思って読んでほしいです。ミステリーの本、予知夢、信じるか 信じないか、あなた次第です!(1年女子図書委員)

『世界の国々』 地理×文化×雑学で学ぶ 朝日新聞出版



239の国々の歴史、地理、雑学などが載っています。他にも写真を用いた観光名所の説明もあります。日本の国の説明で、自動販売機が世界でも高い評価を受けていることに驚きました。タイの首都バンコクの正式名称が印象にのこる長さでした。地理・公民を好き嫌いにかぎらず、どんな人でも楽しく知識を深められる本だと思います。これまで一度も聞いたことがない国名も知れて、とてもおもしろかったです。地理がニガテという方も分かりやすくまとめられて、カラーで説明されているので、おすすめの一冊です。各国のGDPや輸入輸出額を知れることも魅力です。(2年男子図書委員)

『本を守ろうとする猫の話』 夏川草介/著 小学館



主人公の高校生・夏木林太郎は「夏木書店」を営む祖父と二人暮らし。その祖父が突然亡くなり、店をたたもうとしていた時、店の奥で人間の言葉を話すトラネコと出会う。トラネコは本を愛することができない敵から本を助けるために林太郎に助けを求め。——作者の本への愛情があふれている作品でした。本にとって本当に大切なことは何なのか? 売れる本とは何なのか? など、色々なことを学べる本です。本が好きなお人にはぜひ読んでほしいです。(2年女子図書委員)



図書館下
来しつたのこー!

★★★★★★★★★ 新 着 図 書 案 内 ★★★★★★★★★★

『葉と嘘の季節』 集英社



米澤穂信/著
高校で図書委員をつとめる堀川と松倉。ふたりは図書室の返却本の中に、トリカブトの花の葉を見つける。校舎裏でトリカブトが栽培されているのも発見し、そしてついには被害者が…。

『最後の封印』 今野 敏/著



徳間書店
レトロウイルスの進化形に感染した母親から生まれた子供“ミュウ”。生まれながらに特殊能力を持つ彼らを、抹殺しようとする勢力と保護する勢力に世界は二分されていた。

『モノクロの夏に帰る』



額賀 濤/著
中央公論新社
海の向こうでは、戦争で毎日人が死んでいる。若い僕たちは、この事実とどう向き合えばいいのだろう。遠い昔の話のはずだった「戦争」を近くに感じるとき、僕らの心は少しずつ動き出す。

『腹を割ったら血が出るだけさ』



住野よる/著 双葉社
高校生の茜寧は、友達や恋人に囲まれ充実した日々を送っている。しかしそれは、「愛されたい」という、偽りの自分を演じ続ける毎日だった。ある日、茜寧は愛読する小説の登場人物、〈あい〉にそっくりな人と街で出逢い——。いくつもの人生が交差して響き合う極上の青春群像劇

『夢を売る百貨店』 イミエ/著



文響社
“ドルグート夢百貨店”へようこそ。今宵はどんな夢をお探ですか？空を飛び夢？好きな人に会える夢？シャチになって悠々と大海原を泳ぐ夢？当店では数々の夢を取り揃えております。

『夏』 アリス・スミス/著



新潮社
環境破壊に心を痛める少女が海岸で出会ったのは、母の形見の丸い石を届ける途中の男とその相棒。少女も家族と一緒に彼らの旅に加わり一苦悩深まる世界の新たな希望を描く祈りに満ちた最終章

『変な絵』 雨穴/著 双葉社



見れば見るほど、何かがおかしい？不穏なブログ、消えた男児、惨殺死体、補導少女…「奇妙な絵」に秘められた衝撃の真実とは！？9枚の「図絵」がからみあうスケッチ・ミステリー。

『変な家』 雨穴/著 飛鳥新社



謎の空間、二重の扉、窓のない子供部屋…この家、何かがおかしい。あなたは、この間取りの「謎」が解けますか？YouTubeで人気の不動産ミステリー。

『地球の歩き方 世界のすごい島 300』



多彩な魅力あふれる世界と日本の島々を旅の雑学とともに解説.. シアな地形、文化、生き物を通して世界と日本のすごい島を大解剖！

『地球の歩き方 日本』



47都道府県、すべてを網羅した最強ガイドブック。世界を歩き尽くした「地球の歩き方」が、満を持して日本を深掘りします！知っておきたい＆知らなかった「日本」を読み、「日本」をもっと好きになり、また「日本」を旅したくなる。

『世界遺産の歩き方』



学んで旅する！すごい世界遺産 190 選 おもしろいほどよくわかる！世界遺産を旅したナマの体験談や世界遺産検定クイズをとおして、もっと深くリアルに世界遺産を学ぼう。必見スポットや名物料理。旅するように世界遺産を楽しめる1冊！

『東大生が日本を100人の島に例えたら 面白いほど経済がわかった！』



ムギタロー/著
日本や世界のお金の動きを、「100人の島で起きた出来事」として解説した本です。ユーモラスな動物たちの図解が入って、誰でも「経済がわかる」ぜひ体験してみてください。

『サバンナで野生動物を守る』



沢田俊子/著 講談社
太田ゆかさんは、南アフリカ共和国で働く政府公認のサファリガイド。さらに、絶滅が心配される野生動物の保護活動にも取り組んでいます。

『君が最後に遺した歌』 KADOKAWA



一条 岬/著
僕はある日、クラスメイトの遠坂綾音に「一緒に歌を作ってほしい」と頼まれたことで、その人生は一変する。僕が詞を書き彼女が歌う。時を経て、生涯残り続ける大切な歌

『中高生のための哲学入門』



小川 仁志/著
2022年4月から「18歳」は「大人」です。私たちはどうあれば大人なのでしょう。鍵をにぎるのは「哲学」でした。これから大人になる君たちへ、異色の哲学者がおくる、哲学からはじまる大人入門。

『はじめて読む！海外文学ブックガイド』 金原瑞人ほか

『水辺のワンダー 世界を旅して未来を考えた』

『366日 世界の大自然』 円城寺守/監修 三オブックス

水ジャーナリスト橋本淳司/著 文研出版